

平成23年度川崎区区民会議第5回高齢者部会

日 時：平成23年10月25日（木）18時30分～20時30分

場 所：川崎区役所7階第1会議室

出席者(敬称略)

(1) 委員 5人

星川孝宜、赤間靖夫、猪熊俊夫、富田順人、吉野智佐雄

1. 開会

(事務局)

<会議の成立、会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明、出席者の紹介>

2. 議題

(1) 「コミュニティバスの導入」に関する区民意識の把握について

(星川部会長)

お手元の次第に沿いまして進めたいと思います。まずは、次第を見ていただきたい。

先日の全体会議の中でも「コミュニティバスの導入」に関するアンケート調査をとりましようということで合意を得ていますが、具体的なアンケート内容までページ化することが出来ませんでした。

従って本日は、スケジュール案も出ていますが、アンケートをどういう風にとるのかという所をしっかりと詰めて、来月には、近日中にアンケートをとろうというスケジュールを組んでおりますので、2時間の枠の中ではございますが、アンケート案の中味について今後のスケジュールを含め、議論をしていきたいと思います。

最初に資料1をご覧ください。前回、提出されていた資料にアンケート調査の実施概要案、その辺りの記述の確認をさせていただきたいと思います。今日は、10月25日ですが、アンケート内容の確定を致しまして、11月に入りますとアンケート実施。スケジュールの組み方としては、第3期の任期が来年の3月までですので、全体会議で最終報告をするのが3月になりますが、その前に最終報告書の取りまとめとかをしなければならないので、後ろからスケジュールを組み直した結果、11月にアンケートをとらないとアンケートの集計結果を最終報告書へ盛り込めないこととなりますので、このスケジュールになっております。

従って今日は、アンケート内容の確定ということで、設問内容とどういう方法でアンケートをとるか、対象をどうするかとか、地域の問題、配布や回収方法についてご検討を頂きたいと思います。

資料1「コミュニティバスの導入」に関する区民意識の把握について説明。

資料2「コミュニティバス」に関するアンケート実施概要（案）について説明。

資料3「コミュニティバス」に関するアンケート（案）について説明。川崎区内の交通に関して・コミュニティバスの2つのコース案について。コミュニティバスについて。

資料1と2でいかがでしょうか。

（富田委員）

区内在住の高齢者は、老人クラブとかそういうところに呼びかければよいが、障害者・妊婦・乳幼児の親等は、どういったところをお願いすればよいのか。

（上野副区長）

今、富田委員がどういうルートでについて、調査対象を（案1）と（案2）のどちらにするかをご審議頂いて、その結果かなと思っているのですが。アンケートを調査する期間が11月10日からを今想定しておりますので、その短い期間の中で調査票をお渡ししてということになるとスケジュール的には厳しいなと思うので、（案1）と（案2）高齢者だけに絞っていくのか、あるいは、交通弱者とってよいのか分かりませんが、障害者や妊婦さん等も含めてやっていくのか、まずご審議下さい。

（星川部会長）

対象者を高齢者に限定しているわけではないですよ。主な対象者という事だと思う。若い人がアンケートに答えないということではなくて。（案1）と（案2）この辺りはどうですか。

（吉野委員）

障害者ていうのは範囲が広い。目が不自由な方とか車いすの方とか。ある程度の障害者になると介護者が必要になる。障害者まで範囲を広げるのかという感じがしています。

（富田委員）

（案1）に決まったらこういう形にするとか、（案2）決まったらこうするといった腹案は無いのですか。

（上野副区長）

障害者の場合だと資料2をご覧いただいて、(3) 障害者の場合だと川崎区役所保健福祉センター、大師・田島地区健康福祉ステーションでの調査の仕方になると思います。あとは、障害者団体をお願いをして、ご協力を頂く。妊婦・乳幼児ですと主に健康診断にお見えになる、母子手帳を受け取りに見えるそういった方々に区役所等でアンケートをお願いする形になるかと思っています。ただ、数的には高齢者に比べて少なくなってしまうと思います。

(富田委員)

時間がすごく短いから、あまり手を広げてしまうとかえって始末が出来なくなるので、さしあたり区内在住の高齢者で進めていった方がまとまりが良いと思います。

(吉野委員)

高齢者+αでやるよりも引きこもりがちな高齢者で表にいざなうならば良いと思います。

(星川部会長)

今、お二方から高齢者でいいのではないかというご意見ですが、どうですか。

(猪熊委員)

高齢者にしぼると範囲が狭くなるのではないかという気がする。カッコ書きで(乳児とか、乳幼児とか) 入れるといいのではないか。高齢者だけだと思って、アンケートを提出するのではないかと思います。

。

(星川部会長)

障害者や妊婦の事も頭の隅に置いて配布した方が良いと思います。

(服部委員)

本来、高齢者部会で最初の主旨がどうだったかというのはあると思うのですが、高齢者の意識や意見を聞きたいという事であるならば、高齢者主体でやった方が良いと思います。最初のとっかかりが、高齢者が不便を感じているのではないかということで。結果的にこういうのが実現したら、妊産婦もそうだし、障害者もそうだと思いますが、他のところまで助けることが出来るかもしれない。意識調査でやるということであれば、高齢者部会という形ですすめるのであれば、主に高齢者ということをやった方が実際にアンケートを答える方も答えやすいと思います。

(猪熊委員)

私が一番頭に残っているのは、何回目かの全体会議の中で、あるお母様が、こういうバスが出来ると子どもと親とが自転車に乗らないで、危険な思いをしないで、中心街にでられるからいいですねといった事が頭にひっかかっています。その時にそういう人達の意見も取り入れるべきかなという気持ちで発言しています。

(星川部会長)

たしか、子ども部会の深澤委員が全体会議で発言がありました。お子さんがいる方もこういうバスが出来るといいですねという話がありました。赤間委員はいかがですか。

(赤間委員)

(案1)と(案2)のどちらかに決めて進まないと思います。

(星川部会長)

赤間委員は、どちらですか。

(赤間委員)

案1は、病院関係ですか。

(上野副区長)

部会長ちょっといいですか。今、資料2の2調査対象の(案1)高齢者だけにするか、(案2)高齢者+障害者・妊婦・乳幼児の親にするかのどちらがよろしいですかという質問です。

(赤間委員)

(案1)の高齢者だけにするとお母さん達やその年齢に合わない人がアンケートに参加出来ないという事もありますが、コミュニティバスをやることについては、高齢者を対象にして進んでいるので、高齢者だけでいいのではないかと思います。

(星川部会長)

今迄の話の中で高齢者だけからアンケートをとろうという話は、1度も出ていない。区民からとりましょうという話は出ていて、お母さん達だったらPTAを窓口にしてとるという方法もあります。私が調べた範囲では、実際コミュニティバスって、全国にもものすごい数が運行されています。導入する時にアンケート調査をしていて、必ずしも人を絞ってはいない。ただ、アンケートをくまなく配布すると回収した時には、高齢者の回答が圧倒的に多い。関心がある人が回答するので。配布する段階で選ぶのは、区民の声を反映していないので、危険ではないかと思います。全体会議でもいろいろな声があるので、ご意見を尊重するとお子さんがいる親御さんからアンケートをとるのも大事だと思います。アンケートの調査対象を制限しないということで宜しいのではないかと思います。

(服部委員)

もう一点よろしいですか。障害者についてですが、コミュニティバス自体がそんな大きいものを想定していないので、障害者は削除した妊婦・乳幼児の親御さん等につなげていったらどうかなと思います。

(富田委員)

これは、2番でやると、これだけ広げて出来るのかなという心配があります。

(上野副区長)

そういう意味では、高齢者に関しては、今未だ案という事ですが、老人クラブ連合会は、ちょうど服部委員が委員であるので、区の社会福祉協議会は、富田委員がいらっしゃるので、そういう意味ではご協力を得やすい環境にあります。それ以外の対象者になった時に意見を頂く場面としては、健康診断にお見えになった時に伺うことはできますが、逆に障害者・妊婦・乳幼児の親等にどうやってアンケートを渡すかというところが、難しい場面があるかと思います。幅広くと言われた時にどういう形でそういう人達にほぼ10日間でアンケートをお配りできるか、そこは、事務局として時間的に厳しいという状況がございます。

(服部委員)

私の方でも各地区の老人クラブの会長にあたっていますが、実際のところどういう風に回収するのかが気になっています。川崎区ですが、中央地区・大師地区・田島地区と3つにブロックに分かれていて、それぞれが平均すると55の単位でクラブがあるので、全部で164クラブの会長さんがいらっしゃって、そこに50~60人の会員の方がいらっしゃいます。どのような配布をして、どういうふうに回収できるかということになると、各会長さんを周ってやることはどうも無理だから、月1回単位クラブの会長さんが集まった時に、それぞれの会員さんにアンケートを書いてもらって、それを回収してそれをまた次の月にそれぞれの地区で集まった時に回収しないと個別にやるとなると協力してもらるのが難しいと思います。12月9日までというのは、協力してもらうにはかなり厳しい日程。それが郵送で出来るとかという話が違う。回収方法がクラブの会長さんが集まった時に回収する方法でいかないと集められないのではないかなと思います。12月末ぐらいまで回収期間をおいてもらわないと協力してもらうのが難しい現状がある。

(星川部会長)

基本的に調査方法の繰り返しになりますが、老人クラブやいこいの家など出ていますが、推薦団体を通じて調査しましょうとなっていて、郵送でやるという事は、前提にしていないです。簡単にいうと予算が無いです。赤間委員であれば、まちづくりクラブの会合でお配りして、その場で記入していただき、回収してもらおうとか、そういう事が出来ると数が集まってくると思います。

(吉野委員)

それは、役員だけですか。

(星川部会長)

配布部数の1,000部という数字は、今日初めて見た数字なので、たぶん事務局の方でお考えがあると思います。アンケートは、家に持ち帰るとそこから戻ってこないことがあるので、会合の中で記入していただくことが出来ないかなとか。区民会議16名で16団体あるわけで

すよね。そこでそれぞれ、何人かの人に配って回収をする。お金をかけない回収の方法又は、区民会議の所属団体のお力をお借りする方法というのを前提にしています。

(服部委員)

それが、もし12月9日ということになると川崎区全部老人クラブ164の会長さんには、書いてもらうように頼むことは出来るかもしれませんが。それ以上になると期間がもっとないと難しいかもしれないですね。

(猪熊委員)

僕の方では、各商店街にアンケート調査がありますという通達はしています。17の商店街があつて、1商店街につき30部は絶対持ってきてくれるようお願いはしてあります。その中で何部集まるかは、よくわかりませんが、既にアンケート調査があることは、打診しております。

(富田委員)

団体の内容がございますよね。商店街は非常に団結力があるので皆さん協力してくれると思います。老人クラブとか高齢者とかいうのは、取り締まりを一括して活動する事は難しいと思います。

(上野副区長)

区民会議からご提案を頂いている、「区の花・区の木」のアンケートを10月21日で締め切ったところですが、アンケートを書いてくださいというチラシを約13,000部配りました。インターネットでもお受けします。開票が集まったのが、2,400で、もう少し遅れてまだ集まってきましたが、もう200~300は増えるかもしれません。イメージ的には配った枚数の2割が戻ってきた。「区の花・区の木」は、何がいいですかというのと希望するプレゼントは何がよいかの質問だけだけれど、そういう状況にあったということです。ご参考にしていただきながら、審議頂きたいと思います。

(吉野委員)

12月9日が締め切りになっていますが、いつごろまで伸ばせるのですか。

(上野副区長)

先程のスケジュールによるわけですが、報告書をいつまでにまとめるかというところですね。アンケートの集計を業者委託に出すことになっていますので、ある一定の量をこの日までというのをまとめてお願いしますので後ろに引っ張ると報告書の仕上がりが遅くなります。

(服部委員)

実際数が集まれば、心配いらないです。

(赤間委員)

1,000部出して30%を想定と書いてありますが、30%集めるのですか。

(勝野課長補佐)

配布部数1,000部というのは想定なのですが、先週から事前に服部委員の方とも調整して頂いていて、連合会の各役員さん達が集まるエリア単位の会合があって、その日程は把握していました。ただ、月1回という形なので、どういう配布と回収の方法があるのか、どれくらいの部数をばらまいていただけるのかという事は、今日服部委員が来られるので、この場でご検討いただければと思いました。想定では、老人クラブ連合会の方に800~900部くらいをお願いして、老人憩いの家には、100~200部くらいを配布させて頂き、区役所の方と区民会議の委員さんの方は、どのくらいの数が見込めるのか分からないので、この中に数字としては入れていない状況であります。大体1,000部くらいをベースでと思っています。

(上野副区長)

そういう意味では、この1,000部というものを例えば、1,500とか、2,000部とかという可能性もあるわけですね。お持ちいただける団体があれば増やします。

(星川部会長)

先程、区の花の場合2割くらいの回収ですかね。各団体を通じて渡して、皆さんの手を通じて渡すと回収率が高いところを期待したいと思います。無駄に配ることはなくて、老人クラブ連合会が先程164であれば、例えば1つのクラブに10部頼んでしまえば1,600も集まってしまう。3部お願いしますとか、それぞれの団体にこの部数はお願いしますねという頼み方をすれば、最初から受けられない数字だとしようがないと思いますが、回収の方で1,000部という数字が欲しいと思います。出来るだけ多くの人にコミュニティバスの情報が伝わるということがアンケートの1つの役割として必要だと思います。区民の声を拾ってのアンケートですから回収率が200~300だとそれが区民の声といいきれののかなというところがあります。出来るだけ回収部数は、必要かなと思います。

(コンサルタント)

川崎市民全体を対象にアンケートを行ったことがあります。その時に計算式がありまして、それで計算をすると川崎市民140万人で400という数字が出てきたというのがあります。

(星川部会長)

それは、無作為注出のアンケートでは無いですか。区民アンケートと同じで、いろんなことを聞いています。しかしこのアンケートは、ある意味聞いている事が1点です。導入意識が高いのか、低いのかが見たいのです。そうすると数は力なりというところがあるように思います。200~300でアンケートの体裁は整うのですよというのは、分からないわけではありませんが、区民全体をあらわしているかどうかは、疑問ですが。このアンケートは次の段階に推進するのか、そうではないのかというところでアンケートを採るのですよね。ある程度の数は必要だと思います。

(上野副区長)

環境部会でも先程「区の花・区の木」のアンケートの回収数の目標をいくつに設定するかという議論がなされていて、全体会議でもお話が出たと記憶しています。今、川崎区民が22万人いる中で仮に高齢化率が20%とすると高齢者が約4万4千人ぐらい。その中の何%で見ると。1%で見ると440人で、2%で見ると880人というところがある一定の目安になると思います。この配布部数については、増やすことは問題なくできると思います。ただ、皆さんのご協力を頂かないと難しいです。回収率につきましても先程、猪熊委員がおっしゃってくれたように私のところは、100%回収できるという団体もあれば、そうではなくその団体にお任せして10人のうち2~3人ならというところもあると思います。出来るところは、全部やっていただく。行政の方も川崎区役所・大師支所・田島支所それぞれの窓口で高齢者の方のご相談とか住民票をとりに来た時にご協力いただけませんかということで、職員が高齢者の方にお声掛けをして、待ち時間につけていただける方もいると思います。目標値は目標値で立てていただくのは、いいと思います。議論でここまでやらないとダメだとかという縛りをつけなくてもいいのではないかと思います。

(富田委員)

それでいいと思います。妊婦や乳幼児のいる親御さんのところにも出しておけば、一般的なアンケートの調査が出来たということになると考えます。

(吉野委員)

私もそれで良いと思う。しかし服部委員が言われるとおり、回収に絶対的な時間がどうしても必要な部分があると思います。

(勝野課長補佐)

定例会以外で、配布と回収の方法があれば。定例会を1回配布なら配布で渡して、回収は違う方法がとれるとか、配布の方は、定例会ではない別のところでおお渡しして、回収だけを定例会でやるとかできますか。

(服部委員)

まずは、第一段階としてこれに協力していただけるかということ。どのくらいの数で協力していいよということです。まずは、協力してもらうことが第一で、回収方法については、具体的に郵送で回収出来ない以上は、周って回収するしかないの、そこを頼むわけにもいきません。

(上野副区長)

いったん、調査期間はこういう形でさせて頂いて、委託業者にどこまで引っ張れるのか相談をしてみないとわからない部分があります。老人クラブさんのところについては、個別に締切にはこう書いてあるけれど、いついつまでに出してくれればいいですよということで、調整させてもらうことでいかがでしょうか。

(星川部会長)

出来るだけ沢山集めましょう。区民の声を沢山ひろいましょう。

資料1と資料2については、宜しいですね。それでは、資料3についておうかがいします。

(吉野委員)

資料2と3もつながっているのですが。コミュニティバスの説明をもう少し説明した方がよいのではないかと思います。コミュニティバスは、知る人ぞ知るという感じで、そんなに説明する必要はないという部分もありますが、30人ぐらいの人が乗れる小型バスで、まちなかの少々細い道でも通れるバスを想定してますということを書き込んであげた方が良いと思います。コミュニティバスのような案件は、知る人ぞ知るという感じで、知らない人は、何それという感じがあります。もう少し親切に記載した方がよいと思います。

(服部委員)

かなり、本音のところでは、こちらの方でお願いしていかないといけないところがあるので、先程老人クラブだけは特別に遅くなくても良いというのが、実際9日と入っていると頼みにくい。あとでつめてくるかもしれないけれど、こちらとしては、出来るだけ協力したいという気持ちはあるのだけれど、期限をきられているとうちだけは遅くてもいいよというのが、なかなか協力してもらいづらい。

(星川部会長)

どんな形だと協力してもらいやすいですか。

(服部委員)

出来れば12月中とか。締切だけは、後にしてほしいと思います。

(上野副区長)

そここのところは、業者さんとどこまで引っ張れるのかが分からないので、場合によっては、老人クラブさんをお願いする部分についての回答期限の日付を変えることもありうるということで、調整をさせて頂ければと思います。なるべく多く集めることを一番の目標にしたいと思います。

(星川部会長)

吉野委員が、コミュニティバスの説明をもう少しわかりやすくというお話がありました。

(吉野委員)

コミュニティバスが、細い道も入れるということを意外とお年寄りには知らない。バスという大きいバスを想像しています。

(星川部会長)

それでは、アンケート案についてですが、先程説明したので重複はさけます。問1・問2は、利用する交通について聞いています。コミュニティバスは、2つのコースについて回答して頂きます。

(上野副区長)

問1の3手段のところにタクシーを追加させて頂けないでしょうか。タクシーが抜けてしまっているのです。サ.バスの次に入れてください。

(服部委員)

問6の利用する料金がいくらまでなら利用しますか。という設問の中に150円から始まっているのですが。

(星川部会長)

100円をはずすのは、まずいのではないかと思います。

(上野副区長)

それに対して、こだわりはありません。あくまでも麻生区でスタートしたやまゆり号が150円から始まっていたので、選択肢を1つ増やすことで宜しいですか。100円～300円まで。選択肢を1からはじめて6番までにします。

(星川部会長)

選択肢が多いと集計がめんどろうですよね。

(上野副区長)

現実やまゆりが 300 円でやっていますので、川崎市の中でやっているコミュニティバスの実績を無視するわけにはいかないと思います。

(星川部会長)

麻生区とは、環境が違いますから。

(上野副区長)

どちらでも構いませんが、300 円は必要ないということであれば、切るのは勿論いいと思います。

(星川部会長)

設問を 5 つでそろえていますよね。

(勝野課長補佐)

基本的には、そうですね。

(星川部会長)

ただ、集計のことも念頭におかれていると思いますので。

(吉野委員)

では、100 円、200 円、300 円にすればいいのではないですか。

(星川部会長)

公共交通より安い、50 円でも安いというところに利用のメリットを考える気がします。

(猪熊委員)

ワンコインに魅力を感じるのではないか。この計画は、ワンコインが基本かなと思います。

(上野副区長)

今年の 9 月 1 日から導入されたやまゆりが、150、200、250、300 という 4 つの金額があったものですから、行政の方の理屈というか、この数字というのはどうしてこの数字にしたのと聞かれた時に説明がしやすいという事だけですので。そこに加えて 100 円を入れるのは、全然問題がないと思うし、逆にその他を外してしまいますか。

(吉野委員)

100 円というのは、高齢者の定期を買わない人は、100 円でしょう。

(富田委員)

やまゆりは、300円で運営しているのですね。

(上野副区長)

基本運賃が300円で、高齢者・障害者が200円。サポーター登録という登録をしている人は、本来300円のところ250円で乗れるます。高齢者・障害者でサポーター登録している人が150円です。

(富田委員)

地域というか自転車で動けない場所なのですね。川崎区みたいに平坦ではない場所だからそれでもいいかもしれないけれど、川崎区の場合は、そういうような山・坂の場所もないし、我々が考えていたのは、100円なのですよ。

(吉野委員)

300円でいいよというのは、区内では少ないと思います。

(星川部会長)

しいて川崎区で300円払う意味があるすれば、小田の人が大師に行く場合に今、駅まで行って戻るので、二工程使うので、200円×2=400円するのが、直で300円というのは、おかしい数字ではないと思います。市内のバスが、200円なのに300円はおかしいよねと思いますが、今やっているよりは、300円というのは、割安になっていると思います。

(勝野課長補佐)

その他という選択肢をはずしますか。

(富田委員)

その他は、いらないと思います。250円という半端もつけない方がいいと思います。せっかく地域住民の為にやるのに。

(吉野委員)

150円だとかえって紛らわしいと思います。高齢者優待パスとの使い分けになってくるでしょう。市営バスと臨港バスに乗るときは、証明書を見せて、100円。コミュニテイバスだと100円だけ、あるいは200円だけの方が分かりやすいと思います。

(星川部会長)

利用する時にいくらなら利用しますか。

(富田委員)

安い方がいいのではないかと思います。

(星川部会長)

他のアンケートで50円というところがあったと思います。

(富田委員)

安い方がいいということで、100円にみんな丸をつけてやった場合には、一般のバスよりも安いから、コミュニティバスを使った方が良いということにもなりかねないと思います。

(星川部会長)

1つの案としては、選択肢は5にして、その他をとって、1.に100円をいれて、数字はそのまま。2つめの案としては、50円刻みは不要だということとその他を生かして、100円をいれて、250円をとるのはどうですか。

(服部委員)

金額を自由記述というのは、だめですか。

(星川部会長)

自由記述の余地がありそうなら、その他をのこしておかなければならないと思います。

(服部委員)

いくらだったら、利用するかということです。

(星川部会長)

今のご意見だとその他は、必要ですよという事になると思います。その他の案を生かすとして。上4つを100円は入れて、どこかひとつが抜けるか、選択肢を6つにしてしまいませんか。

(吉野委員)

選択肢を6つにされたらいかがですか。

(星川部会長)

1.に100円が入って番号が1つづつずれて、その他が6.に入る形で。他に何か気になるところがありますか。ご質問でも結構です。

(吉野委員)

循環型のバスを考えているなら、一方通行のぐるぐるまわりなのか、逆回転も周るのか。それぞれに上り・下りがあるのかどうか。

(星川部会長)

このアンケートでは、特に川崎駅の方は、TMO で議論されているのがベースになっています。上り・下りがあるかどうかは、議論しません。大師地区・小田地区でもここには、循環と書いてありますが、決して循環がいいか分からない。そこについては、ご意見がいろいろ出てしまいます。小田地区がどこにあって、大師地区がどこにあって、川崎駅を経由しないバス路線です。具体案は、示さないつもりです。

(上野副区長)

富田委員から先程の利用する料金の件で、やまゆりのご紹介をしましたが、今回のアンケートでは、例えば高齢者はいくらとかということは、一切書かずにいくらだったら利用しますかというところしか聞かない。区民の方々がどういう意識をお持ちかというところ。

(富田委員)

問 12 も同じですね。

(星川部会長)

問 16 の 3. 公的負担でまかなうべきというのは、利用料金をとらないということですか。無料という事ですか。

(勝野課長補佐)

言葉足らずですね。主にというイメージですが。

(上野副区長)

今、部会長がおっしゃったように利用者負担、利用料をとらないかのように思われるのが、誤解を招くようであれば、削除してしまうのもよいかもかもしれません。さっきの選択肢に無料が無いので。

(星川部会長)

3. を無くして、番号をつめます。

(上野副区長)

部会長、一点もう一度確認をさせていただきたいのですが、調査の対象者については、高齢者を中心としてその他の方々にも意見を頂くという事でよろしいのですね。

(星川部会長)

はい。

(上野副区長)

高齢者は、老人クラブとか社会福祉協議会にご協力をお願いする。それ以外のところについては、区役所・支所についてご案内をしていく。区民会議の推薦団体にもご協力頂きます。例えば、市政だよりに載せるとかは、時間的に出来ないのです。区のHPには載せることはできません。どういう年齢層の方にも意見を頂く形で進めさせていただきます。

(吉野委員)

回収方法ですが、推薦団体をお願いした場合の回収は、それぞれ回収する方法と行政サービスコーナーなりに回答して頂きます。

(星川部会長)

数の上で期待できるのは、老人クラブだと思います。PTAもうまく使うと沢山集まると思います。区内20校の小学校・中学校にうまくまいていただければと思います。

(吉野委員)

縁側は、いかがですか。

(上野副区長)

可能な限りは、やりたいと思いますが、10日しかないのです、会議そのものがその間に開催しているかどうか。

(星川部会長)

校長会ではなくて区P協のほうです。学校を通さずに出来ると思います。

(上野副区長)

区P協も当然、教員も入っていますので、校長の許可なしに出来るのかどうか分かりかねるのですが。

(猪熊委員)

33校あって、その中で校長が出てきているけれど、校長が出てこない場合もあるので。

(上野副区長)

勿論、うちのPTAは大丈夫だよ100枚ちょうだいといわれれば、お渡ししますが、今日が10月25日で、アンケートの内容が固まって、アンケートの印刷をして配り始めるのが11月

になるので、関係機関に話をしながらということになるとよりスケジュールが厳しいと思います。

(勝野課長補佐)

11月8日に区民会議の幹事会を予定してしまして、今回のアンケートが部会の方でこうかたまりましたという報告をさせていただいた後に実際印刷にかかります。

(上野副区長)

「区の花、区の木」のアンケートの集計を職員がやっている最中で、それを考えると大変厳しい状況にあって、ご理解いただけたらと思います。

(服部委員)

こういったアンケートもそうなのですが、市の老人クラブの連合会があって、常任理事会が31日にあるので、そこでアンケートの調査に協力するかどうか図って、区内の課長の方でも了解をもらって、それからおろしていかないといけない。何段階かあるので、ここで約束出来ないのです。協力をしてもらうように努力したいと思います。

(星川部会長)

アンケート案は、概ねよろしいですか。修正は、何か所かでておりますが。資料3のP1では、コミュニティバスの説明書きをもう少し、分かりやすく。問1の3手段の選択肢のシにタクシーを入れる。問6の料金のところで、1に100円を入れて、番号を一つづつずらして、その他が6になる。これは、問12にもあてはまります。P4の問16の「3公的負担でまかなうべき」というのを削除して、その他が3になります。特になければ、これで進めていただきます。

それでは、資料4について「高齢者部会のスケジュール」ですが、今日は、10月25日で第5回部会で今行ったところですよ。12月に第6回部会が入っています。

(勝野課長補佐)

全体会でもお話がありましたように「ウォーキングガイドブック」を活用した地域散策イベントを企画していく。12月に入っていますが、コミュニティバスの関係が1月しか出来ないで、11月に前倒しでやることも可能です。11月か12月で出来ればイベントの企画ですので、早い方がよろしいかなという気はしています。第7回がコミュニティバスのアンケート結果をもとに意見を頂きながら最終報告書の作成方針を検討いただきます。第8回は、ウォーキングガイドブックの確認と最終報告案の確認が予定されています。

(星川部会長)

事務局から説明がありましたように次回の部会では、コミュニティバスのことは取り上げられず、アンケートの集計途中なので、中間報告ぐらいしか出来ないと思います。回収数の報告ぐらいは出来るかもしれませんが。主なテーマは、地域散策イベントについて。開催時期は、そうすると11月がいいのではないかと思います。フォーラムとの兼ね合いはどうか。

(上野副区長)

今のスケジュールの中で、1月に予定をされています「ウォーキングガイドマップの改訂版」を活用した地域散策の日程を早めに決めて頂いたほうがいいのではないかと思います。特に1月は、皆様大変忙しいと思いますので。その日程に合わせて、内容は、12月に議論頂くことでいいと思います。

(星川部会長)

イベント対象者は、区民会議のメンバーという話ですよ。

(上野副区長)

区民会議の委員さんと運動推進委員の方々にもお声掛けをしてお声掛けをしてご参加いただける方ということ。

(星川部会長)

時間的には、どのくらい要しますか。半日ですか。

(勝野課長補佐)

歩くコースにもよりますが、コースの7番でしたっけ、大師から歩くところが良いかと思っています。

(上野副区長)

吉野委員が詳しいと思います。

(吉野委員)

歩くだけなら、2時間で十分ですが、行って帰る部分も含みますから。全行程みるとなると3時間ぐらいだと思います。お年寄りになると歩く時間もかかります。あとは、イベントの内容ですよ。ただ、歩くだけにするのか、そこに彩りをそえるのか。

(上野副区長)

後は、平日と土日のどちらが、皆様が参加しやすいのか。日程をまず、押さえて頂きたいと思っています。

(猪熊委員)

私事で申し訳ありませんが、リュウマチがあるので、長時間歩くのと階段の歩行は、だめです。できれば、欠席させて頂きたい。

(上野副区長)

おそらく、区長も参加されると思います。それを考えると、区長の業務が既にはいつていまして、1月14日(土)と1月29日(日)と入っていますので、そこを外して頂いて、1月9日(成人の日)も入っています。

(星川部会長)

平日で具合が悪いのは、私ぐらいですね。

(吉野委員)

1月の土日にやるとすると電車の混み具合も初詣とかありますから考えないといけないと思います。お年寄りのかたを考えると平日の方が良いと思います。

(星川部会長)

1月という事であれば、土日は全部入っているので、平日で決めて頂ければ、調整は出来ます。

(上野副区長)

1月の20日過ぎの平日の中で、1月の中旬以降の方がいいですね。都合が悪い日が入っていれば、そこは外して。特に無ければ11月8日幹事会の中で日程を決めさせて頂いてもよろしいですか。

(星川部会長)

1月26日午前は、都合が悪いです。

(服部委員)

1月19・20日は都合が悪いです。

(吉野委員)

1月27日は、都合が良いです。

(星川部会長)

午前と午後は、どちらが良いですか。

(上野副区長)

1月寒くなっているなので、午後の方が温かいかと思います。午後1時～4時ぐらいまでの間で。1月20日以降の平日の午後という事で予定を検討させて頂きまたいと思います。

(勝野課長補佐)

第6回の部会は、11月の下旬ぐらいから日程を決めたいと思います。

(星川部会長)

28日までは動けないので、29日か30日が良いのですが、皆さんどうですか。

次回部会は、11月30日(水)午後6時30分から第6回高齢者部会を予定します。